



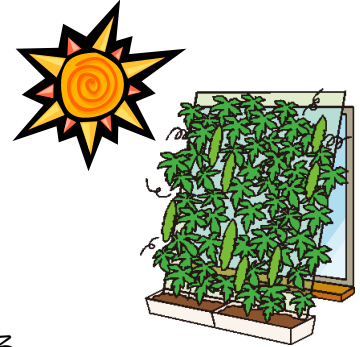
# 暑熱対策を行いましょう！

気象庁によると全国3か月予報6月～8月は「全国的に暖かい空気に覆われやすく向こう3か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並」と予想されています。真夏の鶏の体力低下を少しでも減らすために、効果的な暑熱対策に取り組みましょう！

## 鶏舎の環境改善

《外からの熱を防ぎ、鶏舎内の温度上昇を防ぎましょう》

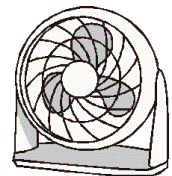
- 屋根や壁に断熱材を設置、白色ペンキや石灰を塗布する。
- 屋根にパイプ・スプリンクラーを付けて、散水する。
- 寒冷紗や緑のカーテンで直射日光を遮断する。
- こまめに除糞を行い、鶏舎内の発酵熱を減らす。
- 周囲の下草を刈り、不要な物を片付けて風通しを良くする。



## 鶏の暑さ対策

《鶏の体感温度を下げ、ビタミンを投与し、体力をつけましょう》

- 送風：扇風機・ダクトの送風で換気をよくし、体感温度を下げる。  
（特に一日の暑さがこもる夕刻～夜間の送風は有効）
- 散水：湿度の低い日は細霧装置で散水する。
- 給餌：早朝や夕方の涼しい時間帯に採食させる。（肉用鶏では昼間の絶食も有効）
- 給水：ニップルドリンカーは一日に数回末端を解放し、水温を低く保つ。
- 飼料添加：不足しがちなビタミン、ミネラルを投与する。



### アカザを利用した鶏舎庇蔭(ひいん)



#### 取組の概要

地域名 : 群馬県  
経営形態 : 採卵鶏  
飼養羽数 : 4,500羽

- 自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、すべての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植。
- アカザは成長が早く、夏期には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日陰ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易。
- 自生するアカザを用いるため、低コストで簡易。

#### 【注意点】

鶏舎内の風通し確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。

#### 効果

- 夏期の死亡羽数が激減  
実施前(H19年)約700羽  
→実施後(H20年)約40羽



## 具体的事例

ご不明な点は当所までお問い合わせください。

京都府丹後家畜保健衛生所 与謝郡与謝野町字下山田616

TEL 0772-43-1125 (夜間・休日もつながります)

FAX 0772-43-1124

